

電波時計

(報時付き置時計)

○○○ 特 長 ○○○

これは便利！自動で時刻合わせ

標準時刻の電波を受信して毎日時刻合わせを自動的に行います。

暗くなると秒針が眠ります

暗くなると秒針が停止して気になる音の発生を抑えます。

毎正時にチャイムが鳴ります

3つのチャイム音から選択できます。

組み立て・設置については、別紙「組み立て・設置ガイド」をお読みください。

お問い合わせについて

お問い合わせの際は、製品番号「4RN415」をお伝えください。

お客様相談室 フリーダイヤル **0120-557-005**

受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

<http://www.rhythm.co.jp>

目 次

1. ご使用上の注意	P.3
2. 電波時計について 電波時計の特徴やお使いいただける環境について	P.4
3. ご使用場所について	P.5
4. 時刻の合わせ方 電池の入れ方と自動で時刻を合わせる手順の説明	P.6
5. 電波受信の流れ	P.8
6. 電波受信のON/OFF切り替え	P.8
7. 電池の交換時期お知らせ機能	P.8
8. 明暗センサー	P.8
9. 電波を受信できない場合 電波を受信できない場合の対処方法	P.9
10. 報時機能の使い方	P.10
11. おもな製品仕様	P.11
12. お手入れについて アフターサービスについて	P.12

本製品は磁器を使用していますので、強い衝撃や硬いものが当たると欠けや割れが発生することがありますので取り扱いには注意をしてください。欠損が大きいときはけがの原因となりますので、使用を中止してください。

1. ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」内容です。



強制

この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

誤飲による事故防止について



警告

小さな部品や小形の電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

アルカリ電池について



警告

- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。



注意

- + (プラス)、- (マイナス) を逆に入れしないでください。
- 指定された電池を使用してください。
- 新しい電池と古い電池の混用や種類の異なる電池の混用はしないでください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。



分解禁止

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。



注意

時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

2. 電波時計について

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

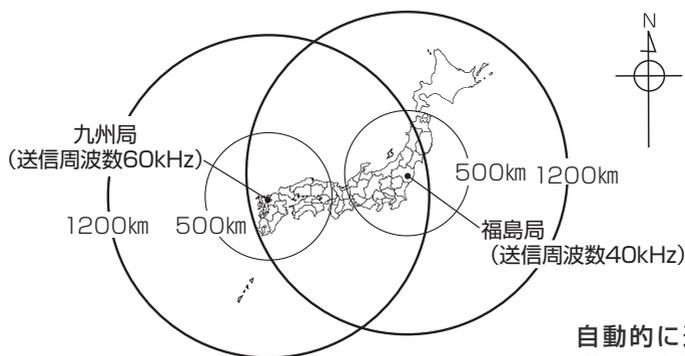
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(<http://jjy.nict.go.jp>)

受信可能な範囲

送信所からおおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



自動的に送信局を選択して受信します。

○標準電波の送信が止まる場合があります

送信所の定期点検や落雷などにより送信が停止することがあります。詳しい情報は、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

○海外でのご使用について

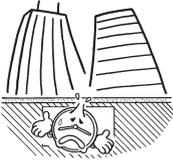
この時計は日本以外の国で送信されている標準電波を受信することができません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信して日本の標準時刻を表示したり、誤受信により誤った時刻を表示することがありますので電波受信機能を停止させてお使いください。

3. ご使用場所について

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい窓際などでお使いください。

電波を受信しにくい環境について

つぎのような場所では受信できない場合や誤受信することがあります。



ビルの地下や大型ビルの奥まった部屋など電波の届きにくいところ



工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所



電化製品や OA 機器の近く、またはスチール机等の金属製家具の上や近く



高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く



金属製の雨戸やブラインドの近く



朝夕の時間帯、雨天のとき

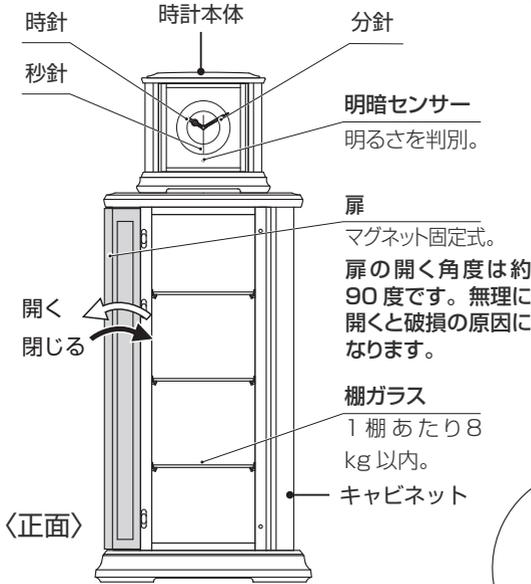
下記のような場所では使わないでください。

機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

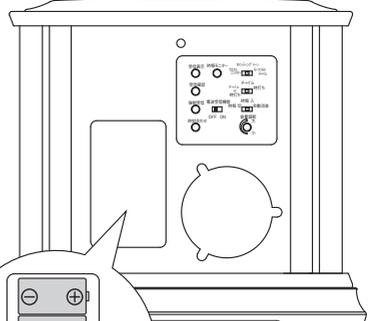
- 温度が + 50℃ (50 度) 以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が - 10℃ (氷点下 10 度) 以下になる所。(プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。)
- 浴室など、湿気の多い所。
- ほこりが多く発生する場所。(空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まることがあります。)
- テレビ・OA 機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

4. 時刻の合わせ方

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



時計本体裏面 〈裏ぶたを開けた状態〉



時計・分針の動き

自動修正：早送りで順方向に動きます。
停止することがあります。

通常表示：10秒単位に動きます。

秒針の動き

自動修正：早送りで順方向に動きます。また、12時位置に停止することがあります。
通常表示：滑らかなステップで動きます。



注意

電池を図のように入れる。**4**
電池の向きを間違えると、電池からの液もれ・発熱・破裂の原因になります。

6 受信表示ランプ

受信の進行状態や受信結果をランプの点灯・点滅・消灯で知らせます。

6 受信確認ボタン

受信結果を受信表示ランプで確認するときに押します。

5 強制受信ボタン

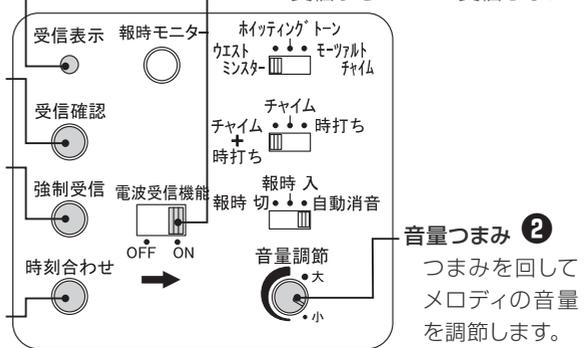
電池を入れた／場所を変えた／誤表示をした。いずれかに該当した時に押します。

時刻合わせボタン

電波を受信できないとき、手動で時刻合わせをする時に使用します。

電波受信スイッチ **3**

ON:受信する OFF:受信しない



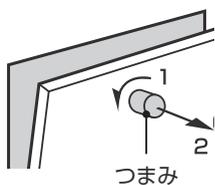
音量つまみ **2**

つまみを回してメロディの音量を調節します。

〈操作パネル〉

手動で時刻を合わせるときは、「**9. 電波を受信できない場合**」の項をお読みください。

裏ぶたの開閉やボタン操作などがしにくいときは、キャビネットと時計本体を取り付けている固定ねじを緩めて時計本体を回転させてください。



① 時計本体の裏ぶたを外す

つまみを左に回して裏ぶたを外します。

② 音量つまみを最小にする

大きな音で鳴るのを防止するために、音量つまみを左に回して最小にします。

③ 電波受信スイッチを ON にする

④ 電池を入れる

裏面の電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れます。⊕⊖を逆に入れると動きません。

⑤ 強制受信ボタンを押して受信を開始する

電池を入れた後は、誤作動を防止するために強制受信ボタンを押してください。
※受信中はボタン操作をしないでください。

⑥ 電波受信の確認する

強制受信ボタンを押してから 15 分以上経過してから時計裏面の受信確認ボタンを押します。 → 「**5. 電波受信の流れ**」参照。

受信成功：「5 秒間点灯」 → 正しい時刻に修正されました。

受信失敗：「5 秒間点滅」 → 時刻は不正確

※受信に成功しても、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

※受信に失敗した場合は「**9. 電波を受信できない場合**」をご覧ください。

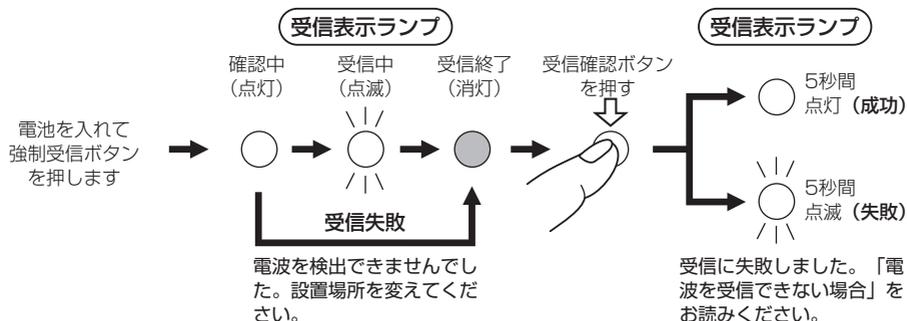
⑦ 報時機能を設定する

「**10. 報時機能の使い方**」に従い、設定してください。

⑧ 裏ぶたを取り付ける

裏ぶたを取り付け、つまみを右に回して固定してください。

5. 電波受信の流れ



6. 電波受信の ON/OFF 切り替え

ノイズなどにより誤受信しやすいところや意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波受信スイッチを OFF にします。このときの時間精度はクオーツ精度になります。○クオーツ精度で時刻を表示し、電波を受信して時刻の修正をしません。

○受信に成功した状態で、電波受信スイッチを OFF にしてから 24 時間以内は、受信確認ボタンを押すと、受信表示ランプが点灯することがあります。

○電池を入れたときや強制受信ボタンを押したときには、電波受信スイッチが ON のときと同様に受信ランプが点灯し、時分針および秒針が早送りしたりしますが、受信は行わずに時刻の表示になります。

7. 電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になりますと、明るいところでも秒針が 12 時位置で停止します。時針および分針はこのような状態になってから約 1 ヶ月間^注) 時刻を表示し続けませんが、報時は停止します。また、モニターおよび時刻合わせボタンを押しても機能しなくなります。お早めに電池を交換してください。

注) ご使用状態により、この期間は前後します。

電池からの液もれに注意

時計が止まった状態で電池を入れたままにすると、電池からの液もれにより、時計や家具に損傷を与えます。時計が止まったら電池を取り出すか、電池を新しいものに交換してください。

8. 明暗センサー

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は 12 時位置で停止します。また、報時スイッチが「自動消音」になっているときは、報時を停止します。

明暗センサーは、周囲の明るさを感知しますので、昼間や夜間の照明時でも、明るさが不足すると反応します。

9. 電波を受信できない場合

受信できない場合は、つぎの3つの方法があります。

○1～2日待つ

一般的に、夜間は電波の受信がしやすくなりますので、1～2日様子を見ます。

○時刻合わせをして使用する

手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時間精度はクォーツ精度になります。

※電波を受信しにくいところで使用すると、誤受信により誤った時刻を表示することがありますので、電波受信スイッチを「OFF」にしてご使用ください。

○電波ブースターを使用する

別売りの電波時計用のブースター(9ZZ005)を使用することにより、標準電波の受信範囲を広げることができますので販売店にご相談ください。

※ブースターはAC電源を必要とします。

手動で時刻合わせをする方法

時刻合わせボタンを操作して任意の時刻に合わせることができます。

- ボタンを操作していないのに針が、早送り・停止している場合は、通常の動きになるのを待ってから操作してください。
- 電波受信スイッチが「ON」の場合は、手動で時刻合わせをしても受信に成功すると時刻は自動的に日本標準時に修正されます。
- 手動で時刻を合わせると時間精度はクォーツ精度になります。

時刻合わせボタンの操作

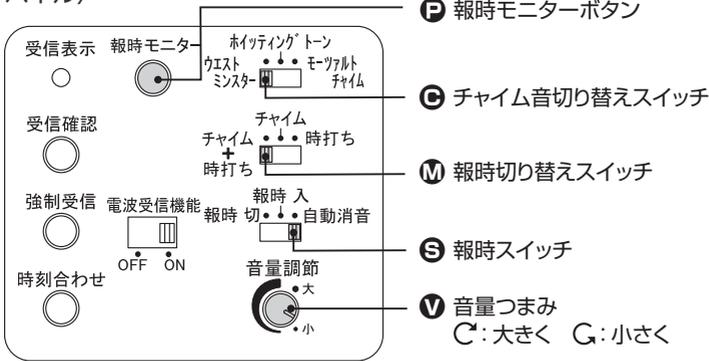
○時刻合わせボタンを押してすぐ離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けたときは、早送りで進みます。このとき秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離すと秒を刻み始めます。

※秒針は時刻合わせボタンを押している間、“0秒”に設定されます。秒針が早送りで動いているときに時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで移動します。

10. 報時機能の使い方

〈操作パネル〉



報時機能はチャイムで毎正時をお知らせする機能です。鳴らし方やチャイム音の種類を選択することができます。

■ 報時スイッチの設定 S

報時 切：報時をしません。

報時 入：毎正時に報時します。

自動消音：室内が暗くなると鳴らなくなります。詳しくは「8. 明暗センサー」を参照。

■ 報時切り替えスイッチの設定 M

お好みの鳴り方を選択できます。

チャイム+時打ち：正時にチャイムを奏でた後に、電子音の数で時刻をお知らせします。

チャイム：正時にチャイムを奏でます。

時打ち：正時に電子音の数で時刻をお知らせします。

■ チャイム音切り替えスイッチの設定 C

チャイム音をウエストミンスター、ホイットニングトーン、モーツァルトチャイムから選択できます。

■ 報時音の試聴 G

モニターボタンを押すと、時刻に関係なくチャイム音を試聴できます。

○チャイム音が鳴っているときにモニターボタンを押すと曲が停止します。

○電波受信中は、モニターボタンを押さないでください。

■ 音量の調節 V

モニターボタンを押し、チャイム音が鳴っている間に音量つまみを回し、音量を調節します。

○強制受信ボタンを押した直後など、針が早送りしている状態では、時打ちが正常にできないことがあります。

11. おもな製品仕様

標準電波の自動受信回数

自動受信修正回数について受信状況により受信を試みる回数が異なります。

条 件	受信回数
受信成功から 72 時間以内	最少 1 回/日 最多 3 回/日
連続 72 時間以上受信に失敗 始めから受信に失敗 手動で時刻合わせをした	12 回/日 (2 時間間隔)

時 間 精 度	標準電波の受信に成功している場合 (受信直後) 表示精度 秒針 ±1 秒以内 時針・分針 目盛に対して±3 度以内 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20 秒 (常温中のクォーツ精度)
報 時 精 度	表示時刻に対して±1 秒以内
使 用 温 度 範 囲	-10~+50℃
使 用 電 池	単2形アルカリ乾電池 (JIS 規格 LR 14) 4 個
電 池 寿 命	約1年
そ の 他	標準電波 <ul style="list-style-type: none"> • 受信表示ランプによる受信成功/失敗表示 • 標準電波受信 ON/OFF 切り替え 報時 <ul style="list-style-type: none"> • チャイム音 : 3種類切り替え • 報時切り替え: 3つの中から選択 • 報時スイッチ: 自動消音/入/切 • 報時音モニター • 音量調節 明暗センサーによる秒針および報時停止 電池の交換時期お知らせ機能

※付属している電池は、工場出荷するときに入れてありますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※電池寿命は電波の受信に成功して、1日7時間秒針が明暗センサーにより停止しているときものです。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

12. お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整（有料）をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路・歯車等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）